

昭和に後戻りさせない働き方へ ～働き方改革オンラインセミナー～

中央区の白山小学校は、「ねこボラ（有志による地域・保護者のボランティア）」の導入を始めとして、指導の効率化を意識した学校行事の大胆な運営方法の見直し等、教職員の長時間勤務縮減や多忙感の解消に向けて、市立校園の先駆けとなって取り組んできました。平成29年度から令和元年度の3年間の同校の取組の成果を紹介しながら、「働き方改革をより一層推進させるための挑戦者を育てる」ことをコンセプトに、新潟市教育委員会と共催で「働き方改革オンラインセミナー」を開催しています。



セミナーは、Zoomを使ってオンラインで行っています。新たな研究会スタイルとして、同校の特命チーム 働き方改革推進委員会のメンバーを中心に企画し、同校職員がペアを組んでブレイクアウトセッションのファシリテーターを務めます。

本セミナーの特徴は、「学級担任が児童生徒を帰したらすぐに、PCやスマホで参加できる」「開催者である白山校の教職員自身が、セミナーのための準備・打合せで多忙感を感じない」ことを目指したことです。これまで2回開催し、第1回は95人、第2回は80人が参加しました。参加者の声を一部紹介します。

オンラインセミナーでの白山校の主張

【第1回】

ここから始める「学校の働き方改革」 ～失敗しない働き方改革のポイント～

- (1) 教職員の日常の働き方を見たり聞いたりしながら、働き方に関する学校の課題をしっかりとつかんで共有しよう！
- (2) 改革の主体者は、管理職から徐々に教職員へ移行させることで、職員の参画意識を引き出す！
- (3) 拙速な改革ほど保護者には理解されないことを前提に、やりたいことをていねいに、繰り返し説明を！

【第2回】

「学校の働き方改革」次なるステップへ ～教員の多忙感を軽減させる学校行事の効率的運営のポイント～

- (1) 短い時間でも質を維持できる指導方法を学んでいくことが、これからの教員の必須アイテム！
- (2) 学校行事の計画案には、働き方改革を視点にした改善点を必ず明記
- (3) 練習では、到達目標を教師と子どもが共有し、途中評価を入れつつ、効率的な練習を行う

教師にゆとりが生まれると

子どもたちにはいつも近くに担任がいてくれる安心感につながります。教師は、生徒指導にかかる予防的な取組に時間を割けるようになります！

【第1回セミナー参加者の声】

あまり進まない働き方改革に諦めていました。今日の話聞いて、自分が思慮浅く、覚悟もなかったことがよく分かりました。どのように変えていったのかなど改革の方法がよく分かりました。

(市内小学校事務職員)

【第2回セミナー参加者の声】

運動会での練習回数を減らすと簡単に言っても、質を落とさないためにはどうしたらよいのかと思っていましたが、白山小の事例を聞き、具体的な内容を子どもたちと共有していました。自校でも取り組めば、これまで以上に質が上がりそうだと思います。

(市内小学校教諭)

【第3回】11月12日(木)「学校の働き方改革」削減一辺倒から分業体制へシフトチェンジ！

- (1) 削減一辺倒の働き方改革もやがては限界に。地域・保護者との分業体制を整えよう！
- (2) 地域・保護者ボランティア導入に向けた学校からの働きかけと持続可能にしていくポイント
- (3) 学校を変える事務職員の役割 **第3回からの参加も大歓迎です。ぜひご参加ください！**

